

【コースのご案内】

御岳ハイキング

(9.05)集合・御嶽駅 [新老人の会・旗目印]・出発
 (9.21) - - バス - - ケーブル下駅 (9.42) -
 - ケーブルカー - - (9.50) 登山開始 (10.00)
 - - (10.30) 山頂 (休憩30分) (11.00)
 - - 途中12時頃場所を探して昼食 - - 大檜峠 (13.
 30) - - (14.50) 鳩ノ巣溪谷・小休憩 - - (1
 5.00) 鳩ノ巣駅・解散

【JR東京駅，新宿駅，電車時間表】

東京 (6.30)	- - 新宿 (6.44)	- - (7.12)	立川 (7.15)	- - (8.11)	御嶽
東京 (6.53)	- - 新宿 (7.07)	- - (7.44)	立川 (7.50)	- - (8.44)	御嶽
新宿 (7.44)	- - 中野 (7.49)	- - 快速	立川 (8.11)	- - (9.01)	御嶽
(11番ホーム発)	途中停車駅: 三鷹 (7.58)、国分寺 (8.05)、拝島 (8.27)、青梅 (8.43)				

【鳩ノ巣駅発車上り電車時刻表】

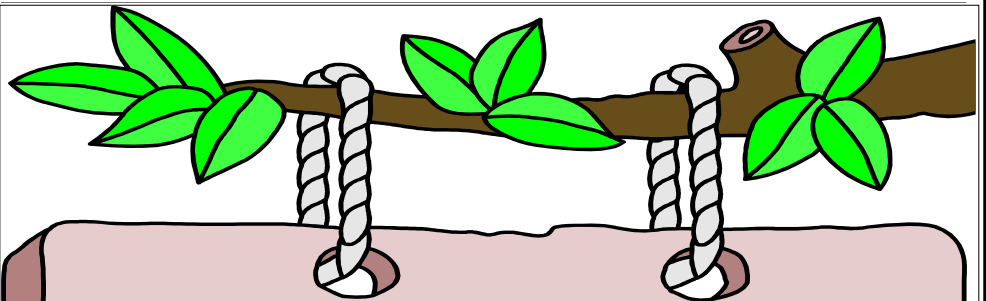
14時29分，45分．15時09分，45分．16時09分，38分．17時20分，49分．

【コースの説明】

ケーブル駅からは舗装した道を左方向に進み、下からの参道に合流、神社までは十分程です。天然記念物の神代大櫛の付近からは傾斜が二十五度の坂道になり、その先程の坂道は延べ二五〇段程に達しています。途中で青いシートに覆われていますが宝物殿は開いていません。鳩ノ巣迄は、参道を半分ほど戻り、道標に従って入ります。山道ですのでガレ場や岩場が所々にありますが、ほぼ平坦または軽い下りの道で、ブナやミズナラの林の中の道です。ほぼ中間点大檜峠に広場が有り休憩です。ここからは下りになり、途中深い谷が所々開けた場所などから覗けて深山の雰囲気が見え、最後は人家が見えて来て、鳩ノ巣溪谷に架かる橋を渡り急な坂を上れば鳩ノ巣駅終点です。

【御岳神社】

関東きつての山岳信仰の霊山として人々に尊崇されてきた。創建が2000年以上前という歴史がある。日本武尊が東征の際、山上に武具を秘蔵した由來がある。本殿は神明造りですが拝殿は権現



【メモ】

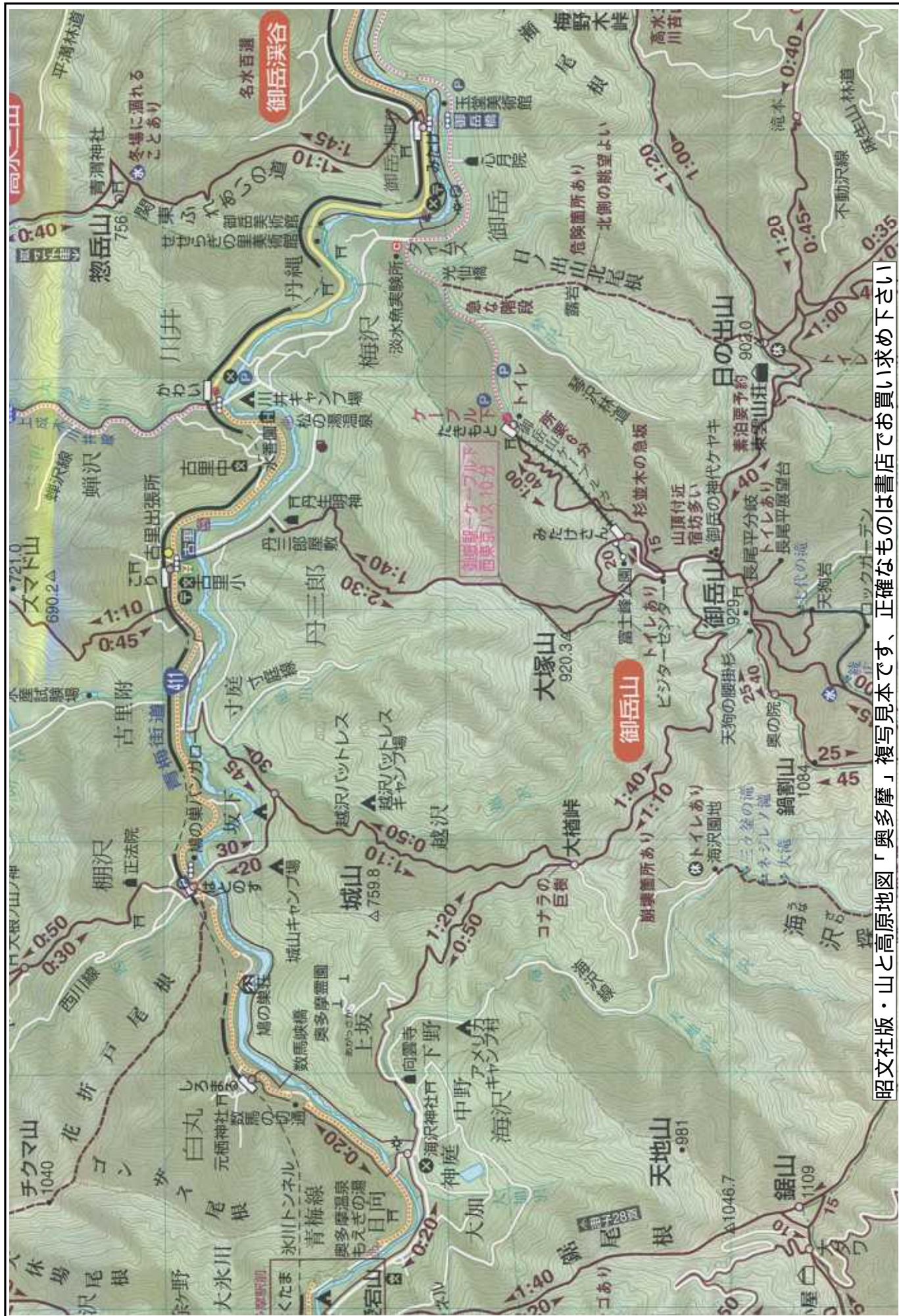
神社迄の往復は舗装道路ですが、鳩ノ巣迄の約八キロは緩やかな下りの長い登山道です。靴は途中のガレ場通過や大檜峠からの下りなどを考えて軽登山靴がおすすめです。トレッキングシューズが良いと思います。タオル、帽子、手袋、雨具、及び登山用の杖は必ずお持ち下さい。また、水又はお茶等は一リットルは携行して下さい。お弁当、おにぎり等は御嶽駅付近でも山頂でも入手出来ませんが、なるべく出発時に用意された方が良いでしょう。

造りで、神仏混交時代の名残をとどめています。



【宝物殿】
武蔵御岳神社の宝物が納められていて、昭和五十

一年に建てられた。収蔵された品々でもつとも貴重なものが、畠山重忠が奉納した赤糸威大鏡で、国宝の指定を受けている。また入口には、北村西望作の畠山重忠公の馬上像があります。料金/大人300円 木曜日定休。



昭文社版・山と高原地図「奥多摩」複写見本です、正確なものは書店でお買い求め下さい